

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 15 日作成)

委員会名	連成問題小委員会	主 査 名：神菌勝彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：坂 壽二
設 置 期 間	2 0 0 0 年 4 月 ~ 2 0 0 4 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	シェル・空間構造とこれらに接する媒体(液体、気体、地盤等の固体)との連成 題に関し、既往の研究成果のまとめや設計上の問題点の抽出等を行い、今後の研 究促進を目指した連成問題の資料を作成する。	
委員構成 (委員名(所属))	神菌(日本大) 近藤(日本大) 大森(名古屋大) 小河(東工大) 高畠(金沢工大) 田中、登坂(日本大) 西村(日本大) 浜本(武蔵工大) 福住(神戸大) 堀(国士館大) 松井(名城大) 皆川(鹿児島大) 吉田(法政大)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	5 0 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催日：11月21日 参加：6人
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) シェル構造物や大型空間構造物は、設置環境に依存して、風力や波浪の影響を 強く受けるので、それらの構造物の流体との相互作用に関する問題点を抽出する と共に、実験と数値計算の現状あるいは研究レベルに関する議論を行った。 また、連続体小委員会からの依頼で「連続体シェルの破壊実験資料」の続編の 資料作成を行い同小委員会に供した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 空気や水などの媒体と構造物の連成系としての構造的な問題点の議論で終わ り、結果を十分に整理するまでには至らなかった。
その他評価すべき 事項	